

産総研と地域企業

産業振興で連携

MZプラットフォームでIT化

聖徳ゼロテック

社内一元管理

聖徳ゼロテック(佐賀市)はプレス金型とロボット・電気など自動化技術を融合したハイブリッド金型のメーカー。従業員30人程度の小さな会社ながら、産業技術総合研究所が開発したMZプラットフォームを活用し、社内をITで二元管理している。話題性の高い取り組みとして多い時

原価見える化

10年前、当社も既存のパッケージシステムを導入していたが、運賃に変換した。現在で用する現場からは改善は経営方針を決めるのや仕様変更に関する要望が出てきた。しかし追加コストが高く、更

後継者育成ツール



り後継者に予定されて

新できなかった。もっているが、入社した頃はとも困っていたのは製品の収支が「よく見えない」ことだった。そんな時にMZと出合

合、システムの自社構築を開始した。原価の見える化から始まり、購買管理、勤怠管理、ISOと次々と社内の運用システムをMZに変換した。現在で用する現場からは改善は経営方針を決めるのや仕様変更に関する要望が出てきた。しかし追加コストが高く、更

一石二鳥

るが、入社した頃はとも困っていたのは製品の収支が「よく見えない」ことだった。そんな時にMZと出合合、システムの自社構築を開始した。原価の見える化から始まり、購買管理、勤怠管理、ISOと次々と社内の運用システムをMZに変換した。現在で用する現場からは改善は経営方針を決めるのや仕様変更に関する要望が出てきた。しかし追加コストが高く、更

産総研エレクトロニクス・製造領域研究戦略部 総括企画主幹 澤田 浩之

一言メッセージ

多くのデータから有用な情報を抽出し、それを利用するためのシステム化がIT活用の本質である。聖徳ゼロテックはMZを利用して、実践している。中小製造業のIT活用モデルとして、産業界の啓蒙につながるものと期待している。